

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	障害児通所給付事業		会計区分	1	一般会計		所管部署	福祉課		
事業番号	6235		予算科目	3 款 1 項 16 目 民生費			シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価 (事業の概要・結果のみ)		事業区分	政策的事業【義務】			所属長名	米湊	米湊	米湊
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造	基本施策	心の通った社会福祉の推進			担当責任者	小笠原	小笠原	岡本
根拠法令等	児童福祉法						事務担当者	木下	木下	松林
関係する計画等	伊予市第3次障がい者計画 第7期障がい福祉計画 第3期障がい児福祉計画						事業開始年度	□ 平成 19 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力		
事業の目的【ゴール】	対象	身体、知的、精神に障がいのある児童及び難病のある児童の通所による療育支援を行う。					事業終了年度 (予定)	令和	年度(予定) □ 設定なし	
意図	発達に遅れや心配のある児童、障がいのある児童に対し療育支援を行うための経済的支援を行う。									
事業内容【アクティビティ】	具体的な内容、どのような方法で実施しているのか		障がい児の保護者から申請された障がい児通所支援の利用について、障がい児の心身の状況、当該障がい児の介護を行う者の状況、通所支援の利用に関する意向、障がい児利用計画案その他のこども家庭庁で定める事項を勘案して、支給の要否を検討する。							
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 (扶助費)									
本事業とSDGs (持続可能な開発目標)との関連性	<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input checked="" type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任	<input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナースHIPで目標を達成しよう							

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断 現状維持	年々増加する障がい児の支援について他機関との連携も考慮し、支援体制作りを推進していく。	児のライフステージに合わせて面談し、サービス量の見直しを図った。	この面談によるサービス量の見直しの効果は数値としては現れなかった。

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

項目	予算額・執行額及び財源内訳 (千円)				事業費の内訳				摘要 ※代表的なものを簡潔に			
	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	節	細節	事業費 (千円)					
予算	当初予算	249,867	258,911	303,624	300,294	扶助費	その他扶助費	227,577	262,787	284,201	299,340	障害児給付費等
	補正予算	0	22,179	0	0	役務費	手数料	665	755	716	854	障害児給付費等支払手数料
	前年度から繰越	0	0	0	0	役務費	通信運搬費	10		3	14	郵便料金
	予備費等	0	0	0	0	需用費	消耗品費	8		17	24	
	計	249,867	281,090	303,624	300,294	需用費	燃料費	9		15	22	ガソリン
決算	執行額	228,269	274,292	284,952		償還金	償還金		10,712			返還金
	翌年度へ繰越	0	0	0		需用費			38		40	
	国庫支出金	113,788	131,394	142,100	149,670							
	県支出金	56,894	65,697	71,050	74,835							
	地方債	0	0	0	0							
財源内訳	その他	0	0	0	0							
	一般財源	57,587	77,201	71,802	75,789							
	執行率 (%)	91.4%	97.6%	93.9%								
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	91.4%	97.6%	93.9%								
	正規職員の人工数	0.19	0.30	0.30								
1人当たりの人件費単価	7,794	7,765	7,895									
※ 執行額+人件費	229,750	276,622	287,321									
					上記以外の事業費合計			0	0	0	0	一般事務費、上記で書き表せないもの
					事業費の総計			228,269	274,292	284,952	300,294	

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	指標	項目	単位	目指す方向性	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
活動指標	指標①	児童発達支援 (利用延べ人数)	人	—	597	667	703	子ども家庭センター、巡回相談員、相談支援専門員との密な連携により、早期療育また地域移行に繋げ適切なサービス給付を実施した。	事業遂行に係る課題・改善点	相談員不足への対応としてセルフプランの導入を行う。関係機関との密な連携を続け、早期療育の効果による地域移行を促進することにより資源不足の解消を図る。
	指標②	放課後等デイサービス (利用延べ人数)	人	—	1,749	1,986	1,964			
	指標③	保育所等訪問 (利用延べ人数)	人	—	32	31	15			
	指標④	障害児相談支援 (利用延べ人数)	人	—	462	534	619			

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。